

第5章

地域福祉を推進するための施策

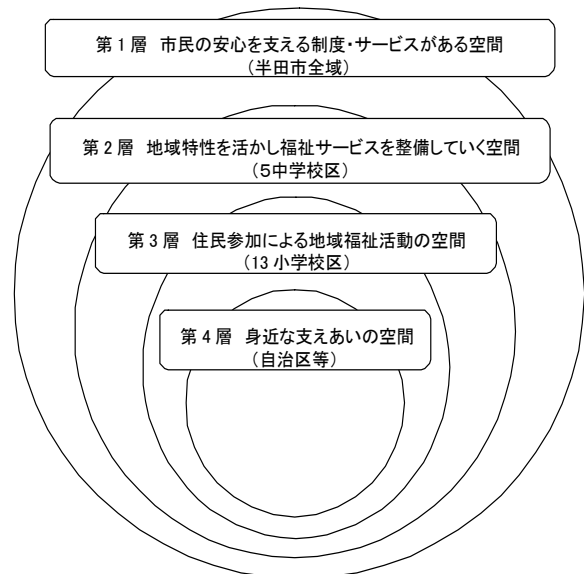
重点施策とともに、福祉分野の各個別計画の施策や作業部会等計画の策定過程で出てきた意見をまとめ、半田市の地域福祉を推進していく施策（方法・手段）を以下の表のように実施していきます。

5つの合言葉	施策のテーマ	施策
し 知る	地域課題共有のしくみ	①誰もがわかりやすい情報提供 ②地域課題の発見と議論の場の整理
	身近な相談者の広がり	①地域住民が相互に支えあえる身近な相談体制の整備
	災害時の支援	①災害時要援護者
まな 学ぶ	多種多様な学び	①福祉教育の継続・発展
	地域活動の活性化	①誰もが参加できる地域活動の実施 ②サロン活動の充実 ③地域のキーパーソンの配置 ④既存施設の有効活用
うご 動く	段階別人材育成のしくみ	①ボランティア相談が気軽にできる体制の整備 ②身近な地域の『世話焼きさん』の再評価 ③関係機関の役割の理解促進 ④新たな人材の育成のしくみ
	連携機能の強化	①出張相談窓口の開設 ②社会資源の情報集約・共有・発信 ③地域の福祉課題の集約と分析 ④新たな人材の育成 ⑤専門職員の情報共有と連携のしくみづくり
	新たな人材の活用	①ボランティア・市民活動センターの充実・強化 ②地域を支える人材の活用
	活動する人たちの交流と発展	①地域福祉活動実践のPR ②社会参加の場の充実
いど 挑む	プロジェクト会議の充実	①プロジェクトチームによる福祉課題の解決 ②各種協議会の連携強化 ③行政への政策提言の場 ④社会資源の開発
	振り返りシステム	①サービスの第三者評価・苦情解決のしくみの整理 ②行政計画や事業の評価
はぐく 育む	まちづくりの発想の転換 (行政主導から市民参加)	①コミュニティビジネス ^{*16} 創設への支援
	誰もが尊重される風土	①誰もが安心して暮らせる居場所の確保 ②権利擁護 ^{*17} の充実

※ことばに「*」がある場合、73ページから用語解説があります。

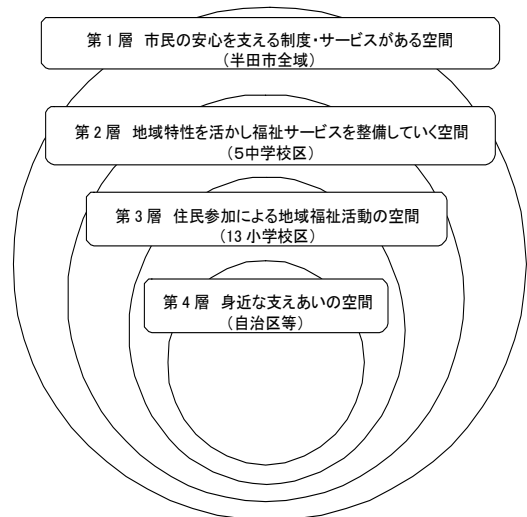
知る（身近で解り合う） ～集い・語らうことで地域の課題として支えあう～

施策のテーマ	施策	どこの範囲で	誰が	いつまでに
地域課題共有のしくみ	①誰もがわかりやすい情報提供 ●市民にわかりやすいように、福祉に関するさまざまな情報が得られる機会を充実させます。 ●障がいや認知症、子育てなどについて正しい理解の促進を図るため、市報や社協の広報紙並びにホームページでの広報活動に力を入れます。	第3～4層	半田市社協	～24年度
	②地域の課題の発見と議論の場の整理 ●児童・高齢者・障がい者など領域を問わず、地域での福祉課題が早い段階で発見・相談できるネットワークをつくります。 ●超高齢社会、障がいのある方の地域移行など地域の課題として取り組む必要のあることを話し合える場を小地域単位で設定します。	第3層	半田市社協	～27年度
身近な相談者の広がり	①地域住民が相互に支えあえる身近な相談体制の整備 ●生活範囲での比較的平易な相談に対応できるボランティアを募り、小地域での相談体制の整備を図ります。	第3層	地域住民 半田市社協	～24年度
災害時の支援	①災害時要援護者 ●災害時に支援が必要な高齢者や障がい者の支援体制を地域ぐるみで強化し、日頃から災害に備えます。	第4層	地域住民 半田市	～24年度



学ぶ（ともに考える） ～他人事ではなく自分ごととして学ぶ場の確保～

施策のテーマ	施策	どこの範囲で	誰が	いつまでに
多種多様な学び	①福祉教育の継続・発展 ●子どもからご高齢の方まで、年代に合わせた福祉学習を実施します。 ●地域住民が気軽に参加できる福祉に関する勉強会を開催します。 ●地域からの要望に応じて、行政や社協などによる『出前説明会』を開催します。	第3～4層	地域住民 半田市 社協	～24年度
地域活動の活性化	①誰もが参加できる地域活動の実施 ●高齢者や障がい者が参加できる防災訓練を実施します。 ●地域活動（運動会・区民展など）に障がいのある方が気軽に参加できるような工夫を地域住民と一緒に考えます。	第3層	地域住民 半田市 社協	～24年度
	②サロン活動の充実 ●子どもからご高齢の方まで、誰もが気軽に利用できるサロン活動を充実させます。 ●世代を超えて利用できる地域ふれあい施設の増設に努めます。	第3層	地域住民 半田市 社協	～24年度
	③地域のキーパーソンの配置 ●社協職員を地区担当制とし、保健師や生活保護ケースワーカー等と綿密に連絡しながら、地域住民とのパイプを強化します。	第3層	半田市 社協	～24年度
	④既存施設の有効活用 ●小地域福祉活動を行う場として、既存施設の有効活用を検討します。	第3層	半田市	～24年度

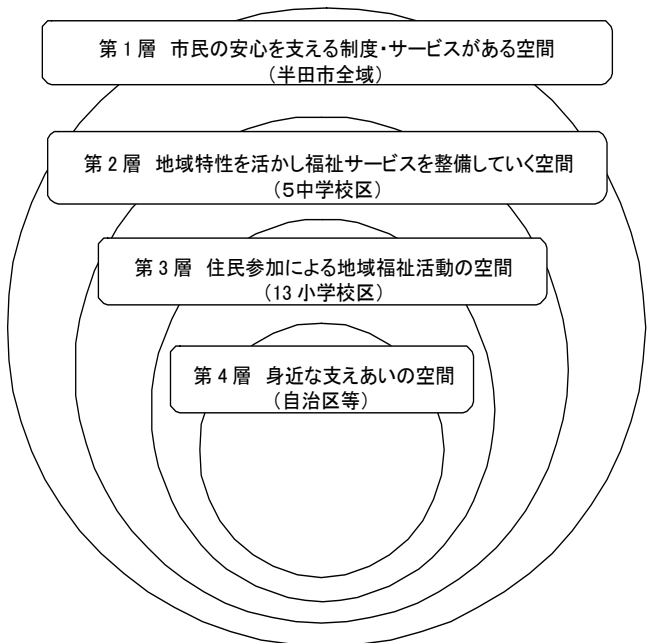


動く（自ら動く） ～「やってみたい」という思いをつなげていくしくみ～

施策のテーマ	施策	どこの範囲で	誰が	いつまでに
段階別人材育成のしくみ	①ボランティア相談が気軽にできる体制の整備 ●地域住民が気軽に地域福祉活動やボランティア活動に参加できるように、ボランティアの情報の発信や相談窓口を整備します。	第3層	地域住民 社協	～27年度
	②身近な地域の『世話焼きさん』の再評価 ●地域の『世話焼きさん』の力をかりて、地域住民同士のつながりを再認識し、『世話焼きさん』による地域コーディネートの仕組みを作ります。	第3層	地域住民 社協	～24年度
	③関係機関の役割の理解促進 ●市民が福祉相談窓口などの選択に戸惑わないように広報に力を入れ、地域と関係機関との連携を強化します。	第1～2層	半田市 社協	～24年度
	④新たな人材育成のしくみ ●認知症サポーター、家庭訪問員、ボランティアなどの人材を育成する研修を強化します。	第3層	半田市 社協 関係機関	～27年度
連携機能の強化	①出張相談窓口の開設 ●地域ふれあい施設等に福祉専門職による出張相談窓口を定期的に開設し、その地域の相談ボランティアと協働して運営します。	第3層	地域住民 半田市 社協	～31年度 (全市域)
	②社会資源の情報集約・共有・発信 ●地域住民が利用できる福祉制度・サービスに関する情報を集め、地域で共有し、地域住民に随時発信できる体制を敷きます。	第3層	地域住民 半田市 社協	～31年度 (全市域)
	③地域の福祉課題の集約と分析 ●地域住民から寄せられた福祉課題を集約し、その原因・対策・将来予測等を分析します。	第3層	半田市 社協 関係機関	～24年度
	④新たな人材の育成 ●意欲的に地域福祉活動を実践する住民を全面的に支援し、地域の宝である『福祉人材』として育成します。	第3層	地域住民 半田市 社協	～31年度 (全市域)
	⑤専門職員の情報共有と連携のしくみづくり ●一生涯を通じた福祉情報の共有の体系化を検討し、制度の垣根を超えた連携を図ります。	第1～2層	半田市 社協 関係機関	～31年度

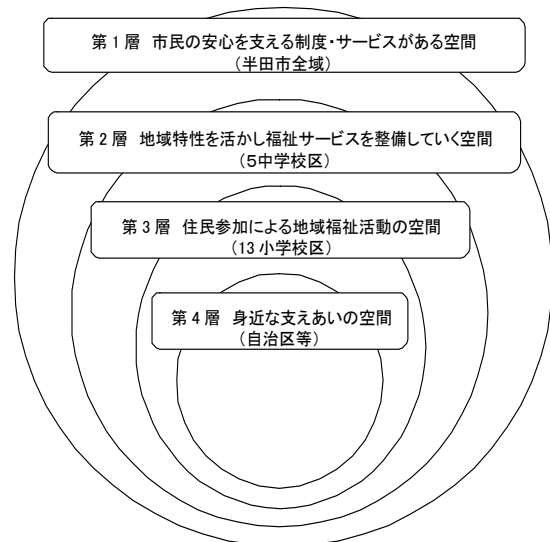
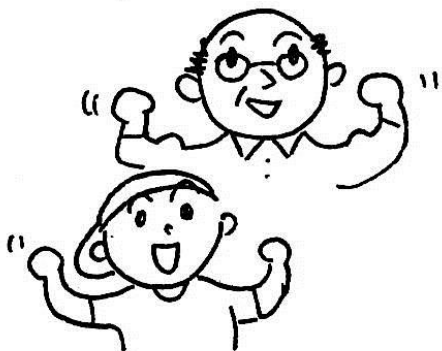
動く（自ら動く） ～「やってみたい」という思いをつなげていくしくみ～

施策のテーマ	施策	どこの範囲で	誰が	いつまでに
新たな人材活用	①ボランティア・市民活動センターの充実・強化 ●ボランティア団体・市民活動団体との連携強化と活動の活性化を図り、組織的に人材の発掘と育成に努めます。	第1～2層	半田市 社協 関係機関	～27年度
	②地域を支える人材の活用 ●団塊の世代をはじめ“中高年パワー”を活用できるしくみをつくります。	第3層	社協 関係機関	～27年度
活動する人たちの交流と発展	①地域福祉活動実践のPR ●地域住民が行うボランティア活動や市民活動を積極的に広報し、市民の地域福祉活動への理解と興味を引き出します。	第1～2層	地域住民 社協	～27年度
	②社会参加の場の充実 ●企業や商店街など各団体と協議しながら、高齢者や障がい者の就労促進を図ります。 ●高齢者や障がい者が地域福祉活動に参加しやすくなるように、交流の機会を設けていきます。	第1～3層	半田市 社協 関係機関	～27年度



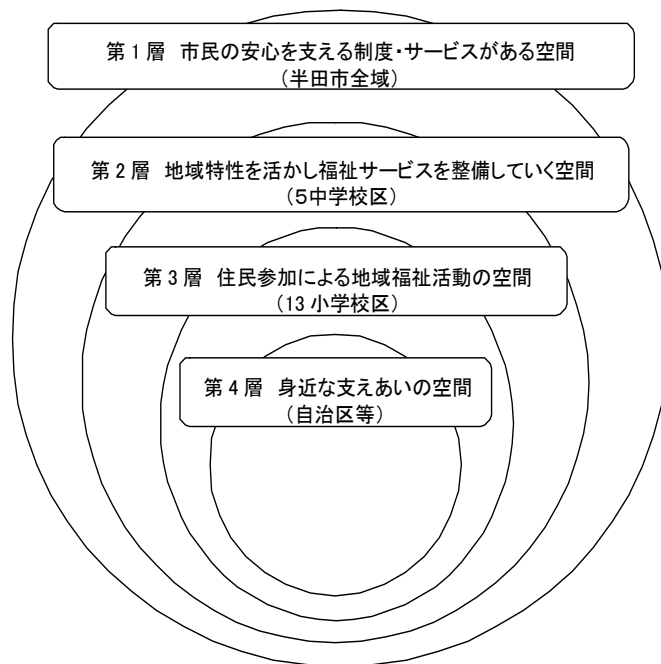
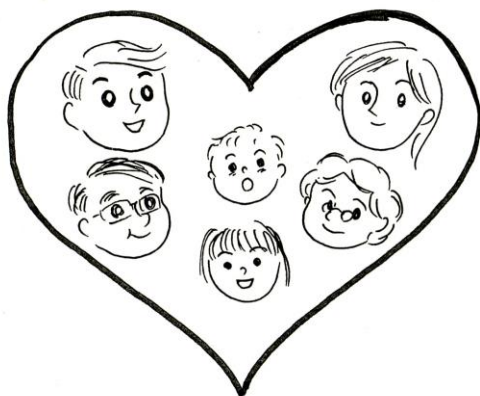
挑む（変化し続ける） ～新たな課題に挑み続けるしくみ～

施策のテーマ	施策	どこの範囲で	誰が	いつまでに
プロジェクト会議の充実	①プロジェクトチームによる福祉課題の解決 ●半田市が抱える福祉課題に対して、制度や部門を超えたプロジェクトチームを結成し、その解決を図ります。	第1～2層	半田市 社協 関係機関	～24年度
	②各種協議会の連携強化 ●福祉分野に関する部門別各協議会との連携を図り、共通する課題については連動しながら議論を進めていきます。	第1層	半田市	～27年度
	③行政への施策提言の場 ●現状の制度や支援体制では解決できない福祉課題について、行政に建設的な政策提言ができるしくみをつくりまします。	第1層	社協 関係機関	～24年度
	④社会資源の開発 ●福祉課題の解決に向けて、プロジェクトチームで新たな社会資源の開発を目指します。	第1～2層	半田市 社協 関係機関	～31年度
振り返りシステム	①サービスの第三者評価・苦情解決のしくみの整備 ●提供されているサービスが利用者のニーズに合っているかを評価するとともに、苦情解決が適切に実施できる体制の整備に努めます。	第1～2層	地域住民 半田市 関係機関	～31年度
	②行政計画や事業の評価 ●地域福祉計画をはじめとする各福祉計画について、市民が進行管理できるしくみをつくりまします。 ●半田市が実施する各福祉事業を市民にわかりやすく広報します。	第1層	地域住民 半田市 社協 関係機関	～31年度



育む（心を育む風土へ） ～「ともに暮らす」という思いを育むしくみ～

施策のテーマ	施策	どこの範囲で	誰が	いつまでに
まちづくりの発想の転換 (行政主導から市民参加)	①コミュニティビジネス創設への支援 ●福祉を産業と捉え、観光や農業等の地場産業と連携を図り、地域の福祉課題の解決が期待できる起業を支援します。 ●地域に密着した活動が根付くために市民との協働に努めます。	第2層	地域住民 半田市 社協 関係機関	～31年度
誰もが尊重される風土	①誰もが安心して暮らせる居場所の確保 ●高齢者や障がい者が、安心して生活できる住居について積極的議論を進めていきます。 ●障がいのある方たちが、気軽に利用できるフリースペース* ¹⁸ をつくるほか、地域では、子どもからご高齢の方まで気軽に利用できる居場所づくりを支援します。	第1層 (フリースペース)	地域住民 半田市 社協 関係機関	～31年度
		第3～4層		
	②権利擁護の充実 ●虐待の防止や判断力が低下した方の権利を守る仕組みを充実させます。	第1～2層	半田市 社協 関係機関	～27年度



※ことばに「*」がある場合、81ページから用語解説があります。